

少数台数のリコール届出の公表について (平成29年12月分)
--------------------------------

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成29年12月は6件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
12月6日	外 2572	車名：ランドローバー 型式：CBA-LV2A 他 通称名：レンジローバー Evoque 他	19	平成28年8月26日～ 平成28年11月11日
不具合の部位等	緩衝装置において、フロントロアアームの組付時の作業指示が不適切なため、当該アームとナックルアームを締結するボルトの軸力が不足しているものがある。そのため、走行時に異音が発生し、そのままの状態で使用を続けると、走行振動等により当該ボルトが折損し、最悪の場合、フロントロアアームが外れ、走行不能となるおそれがある。			

2. 届出者：いすゞ車体株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月8日	4151	車名：いすゞ 型式：SDG-FSS90S2 他 通称名：フォワード 他	29	平成23年11月15日～ 平成28年10月11日
不具合の部位等	消防用自動車の電気装置において、電気回路内に組み込まれているヒューズブルリンクの接続端子のかしめが不適切なため、抵抗値が大きくなり端子部が発熱することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、端子のかしめ部が異常発熱して溶損し、電気回路が絶たれ、最悪の場合、走行不能となるおそれがある。			

3. 届出者：新明和工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月14日	4160	車名：日野 型式：2KG-FC2ABA 他 通称名：日野レンジャー	98	平成29年6月16日～ 平成29年10月25日
不具合の部位等	<p>① 中型ダンプのスペアタイヤキャリアにおいて、巻き上げ機固定用ボルトの取付けが不適切なため、締付けトルクが不足し、軸力が低下しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、走行時の振動等によりボルトが緩み、巻き上げ機及びスペアタイヤ（以下、「巻き上げ機等」という。）が傾き、最悪の場合、ボルトが外れ、巻き上げ機等が脱落し、他の交通の妨げとなるおそれがある。</p> <p>② 中型ダンプ車のシャシフレーム及びサブフレームを締結する対向ブラケット固定用ボルト及びナットにおいて、製造が不適切なため、誤品が取り付けられている。</p>			

4. 届出者：Aston Martin Lagonda Limited

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
12月15日	外 2574	車名：アストンマーティン 型式：不明 通称名：V8 ヴァンテージクーペ	28	平成22年12月17日～ 平成24年8月15日
不具合の部位等	<p>① 半自動式油圧クラッチにおいて、クラッチ油圧パイプ接続部の振動に対する評価が不十分なため、エンジンの振動等により、接続部の固定金具（リテンションピン）が外れ、当該パイプが損傷することがある。そのため、クラッチオイルが漏れ、そのままの状態で使用を続けると、警告灯が点灯して変速不能となり、最悪の場合、停車時にギヤをニュートラルにできず、エンストして再始動できなくなるおそれがある。</p> <p>② トランスミッションに関する整備時において、作業要領書の指示が不適切なため、トランスミッションコントロールモジュールの制御プログラムが正しく設定されていないことがある。そのため、自動変速モードで走行した場合、半クラッチ状態が長くなり、そのままの状態で使用を続けると、クラッチ温度が上昇し、警告灯が点灯するとともに変速不能となるおそれがある。または、走行開始直後、ニュートラルになるおそれがある。</p>			

5. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月20日	外 2580	車名：メルセデス・ベンツ 型式：不明 通称名：Citaro-G	5	平成24年10月22日～ 平成28年8月24日
不具合の部位等	<p>連節バスにおいて、</p> <p>① ワンマンバス構造要件に適合させるための改善措置が不適切なため、中扉及び後扉付近に乗客がいる場合であっても、運転者の操作により当該扉が開くことがある。そのため、ワンマンバスの構造要件に適合しなくなるおそれがある。</p> <p>② 運転者席後方配電箱内の配線固定用ブラケットの端部処理が不適切なため、配線が当該ブラケットの端部と干渉することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、配線の被覆が損傷して短絡し、最悪の場合、走行中にエンジンが停止して再始動できなくなるおそれがある。</p> <p>③ 車体後面に設置されているエンジン点検用開口部パネルの取付け方法が不適切なため、当該パネルの接着力が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、車体後面から当該パネルが脱落して、他の交通の妨げになるおそれがある。</p>			

6. 届出者：株式会社小松製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
12月26日	4165	車名：コマツ 型式：EDR-WA105 他 通称名：WA200-6 他	41	平成15年10月20日～ 平成25年9月27日
不具合の部位等	<p>ショベル・ローダに装着するロータリ除雪機において、バッテリーケーブルの取付指示が不適切なため、走行中の振動等により、油圧ホースに干渉し、被覆等が損傷することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、バッテリーケーブル及び油圧ホースのワイヤが露出、接触して短絡し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。</p>			

【参考】

●平成29年12月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	13(-5)	10(-5)	3(0)
輸入車	10(4)	7(2)	3(2)
計	23(-1)	17(-3)	6(2)

※ ( ) 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成29年度)

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	22(+5)	8(-4)	30(+1)	808,469(-1,175,324)	3,638(-22,525)	812,107(-1,197,849)
5	9(±0)	15(+11)	24(+11)	196,104(+90,513)	8,789(+5,578)	204,893(+96,091)
6	18(-10)	20(+9)	38(-1)	179,217(-4,553,922)	65,506(-35,473)	244,723(-4,589,395)
7	17(-6)	15(+1)	32(-5)	184,875(-775,583)	80,382(+56,409)	265,257(-719,174)
8	12(-3)	7(+4)	19(+1)	25,396 (-124,217)	3,009(+2,599)	28,405(-121,618)
9	19(+3)	16(+4)	35(+7)	1,545,116 (-4,433)	66,906(-59,213)	1,612,022 (-63,646)
10	18(+3)	15(+1)	33(+4)	1,587,918(+59,218)	127,972(-94,913)	1,715,890(-35,695)
11	12(-17)	13(-8)	25(-25)	796,955(-127,688)	7,000(-37,258)	803,955(-164,946)
12	13(-5)	10(+4)	23(-1)	372,174(+249,057)	9,493(+7,151)	381,667(+256,208)
小計	140(-30)	119(+22)	259(-8)	5,696,224(-6,362,379)	372,695(-177,645)	6,068,919(-6,540,024)

※ ( ) 内は、対前年同月比